

## 平成27年度の改善評価事項に対する対応について

平成29年8月24日

金沢大学では、動物実験委員会において平成27年度の本学における動物実験等の実施状況などについて「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」（文部科学省告示第七十一号。以下「基本指針」という）及び「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」（環境省告示第八十八号。以下「実験動物飼養保管基準」という）と適合しているかについて点検・評価を行いました。

その結果浮かび上がった主な課題とその改善の方針に対して、以下のとおり対応いたしました。改善の必要のあった項目のみ掲載させていただいております。

### 【I. 規程及び体制等の整備状況】

#### 1. 学内規程

動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。

申請の完全オンライン化・様式の見直しにより、平成28年度の実施体制は格段に改善されたが、新様式への誤記入が散見されることから、様式に若干改善の余地がある。また、動物実験が少ない部局における手続き等の周知が不十分に見受けられる。については、新たに導入された項目を含め、次年度申請に向けて様式の改訂を進める。また、動物実験が少ない部局への通知を行う際は、周知徹底するよう支援する。

#### 【点検評価を受けてとった対応】

・平成29年1月17日付け動物実験委員会委員長通知「動物実験申請に係る各種様式及び『動物実験計画の申請及び実施結果の報告要領』の一部改訂について」により、誤記入されやすい項目の補助説明追加、項目の選択肢化、記入欄の拡張など、様式改訂を行い、速やかに手続きが進むよう改善した。

#### 5. 実験動物の飼養保管の体制

概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

昨年の自己点検対応後、実験室設置状況確認が更新されておらず、退職教員が責任者になっている施設外実験室が散見される。については、新年度に毎年確認し、管理状況を適正にする。また、実験室設置場所に部屋番号が無いものについては、再度特定の番号及び記号を確認する。

#### 【点検評価を受けてとった対応】

・平成28年11月8日付け理事（研究担当）通知「平成27年度の動物実験に関する自己点検について」により、飼養保管施設外実験室の変更事項の確認を通知。  
・平成29年4月21日付け研究推進部研究推進課総務係長依頼「飼養保管施設外実験室の設置

場所確認について」により、設置場所の番号及び変更事項の確認を行い、責任者の管理状況を適正化した。

## 【II. 実施状況】

### 2. 動物実験の実施状況

概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

計画書、報告書の提出期限超過については、督促体制及び手続の構造的改革により改善したが、実験責任者の転出がある場合においては、適切な報告書の提出や引継ぎが滞る場合がある。ついては、実験責任者の転出がある場合、実験の継続状況等の有無の把握及び、継続していた場合の対処を適切に行うよう、学内への年度末通知時に周知徹底する。

#### 【点検評価を受けてとった対応】

・平成28年11月8日付け理事（研究担当）通知「平成27年度の動物実験に関する自己点検について」により、実験責任者の転出がある場合、金沢大学動物実験規程第7条にもとづく報告義務とともに、実験責任者へ実施状況及び結果について転出前に必ず報告、責任者交代を行うこと、継続実験する場合は適切な引き継ぎを行うことを通知。更に、次年度の申請受付通知へも記載し、周知徹底を図った。

また、各部局人事係へ、退職者宛ての案内通知へ上記研究推進部からのお願いを、追記依頼した。

### 6. 教育訓練の実施状況

概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

2部構成の講習は、平成26年11月から開始し平成28年9月に行われた臨時講習を含め、現在まで合計21回実施しているが、文科省基本指針施行後に対応した前半1部の講習未受講者が一部存在する。

また、日本語での講習内容の理解が難しい外国人に対する配慮も不十分である。ついては、平成28年7月末で、動物実験基礎講習 前半の受講履歴が確認できない者は、動物実験責任者の申請資格を停止したが、引き続き基礎講習開催通知時における受講義務化を個別に通知する。また、責任者でない実験従事者未受講者への措置、及び、外国人対象の講習も検討し改善する。

#### 【点検評価を受けてとった対応】

・平成28年11月8日付け理事（研究担当）通知「平成27年度の動物実験に関する自己点検について」により、平成28年7月末で、動物実験基礎講習前半の受講履歴が確認できない者は申請できないものとし、新たな申請と継続申請の際には、文科省基本指針施行後に対応した前半1部の講習を受講するか、有資格者への責任者交代を要する旨通知し、該当者へは、講習開催通知の際に個別通知（連絡先が確認できない実験従事者の方へは、実験責任者宛て）を行った。また、平成29年度の金沢大学動物実験基礎講習第4回目を英語による講習として開催し、外国人研究者等が動物実験や施設使用を適正に行えるよう配慮した。